



⇒E-mail fureainpo@gmail.com

⇒ホームページ
<http://www.fureai-support.jp/>



8・9月号
令和6年7月17日

- 法人事務所・アトリエ TEL 0244 (36) 5420
〒976-0042 相馬市中村字北町1-8 FAX 0244 (26) 5424
- デイサービス友遊(北 町) TEL 0244 (26) 5424
- デイサービス友遊(南飯淵) TEL 0244 (36) 3582
- 相馬市中央児童センター(ポニー・ことり) TEL 0244 (35) 2008
- 飯豊小放課後児童クラブ(ひまわり) TEL 0244 (37) 8870
- 日立木小放課後児童クラブ(めだか) TEL 0244 (35) 3400
- 磯部小放課後児童クラブ(げんき) TEL 0244 (32) 1787
- 八幡小放課後児童クラブ(なのほな) TEL 0244 (26) 9011
- 相馬こどものみんなの家 TEL 0244 (35) 4700

5月に植えた稲も、分けつしてぐーんと太く伸び、子ども達の成長のように逞しさを感じる稲に育っています。

気温の高い真夏日が続いているので、豊作を期待して、秋の収穫が楽しみです。

機械で植えたよりも皆が手植えて植えた苗が緑濃く太く成長してるようです。夕涼みに田圃までドライブでも・・・どうぞ。

アトリエでは、毎回子供たちに特別な空間と時間を提供できる90分の授業を大切に、

スタッフ一同、一人ひとりに向き合い、学ぶ楽しさを共有してきました。1学期もあっという間に過ぎ、もうすぐ夏休みです。

長い夏休み、いつもと違う時間の中で普段できないことに挑戦。自ら考え、やる気の芽を伸ばしていきたいものです。



未就学児コース おいしいごちそう



低学年コース ミルキーちゃんと・・・



高学年コース 初夏の味・ピア写生



中学生～コース 見つめる・・・

6・7月の**かがぞうけいきょうじつ**では・・・

未就学児：おいしいごちそう・目玉焼きとジュースで乾杯

「美味しそうなジュースができたよ。」新しい発見に次は・・・次は・・・とワクワク、目はキラキラ。夢中になってとっても楽しそう!「目玉焼きも自分で作ったよ。」絵具で描いたジュースも目玉焼きもおいしそう・・・

小学1・2年生：ミルキーと芝生で(混色練習)

混色の練習をしながら、筆やパレットの使い方の再確認。緑色がなくてもレモン色・黄色・青色で芝生の色作れたよ。大好きなミルキーをよく観察しミルキーそっくりに描けたよ。芝生の上でみんなで遊んでいる絵を完成。

小学3年生～：おいしそうなびわ(写生～混色練習)

初夏一番の果物のびわ。今年は大豊作で南飯淵の駐車場にある木に見事に実をいっぱいつけています。絵の材料にしておやつにして・・・と随分収穫しましたが、後は鳥さんにプレゼント。4年生以上は 和紙に描きました。

中学生以上～：筍・しゃくやく・ばら(油絵)

竹藪の中の筍、シャクヤク、バラの花など、それぞれ思い思いに構図を考え、描き込み、自分の世界を描いていく。何年前かの皆さんを思い浮かべると、お互い教え合い意見する姿など大人に成長した皆さんに感動です。

8・9月の活動予定 & 事務連絡

- ◎夏休みの特別授業は 裏面をご覧ください。
- ◎3泊4日リーダー育成「サマー合宿」は 裏面をご覧ください。
- ◎2学期は8月28日(水) 30日(金) より始めます

◎ご請求は

- ・8月は月会費のみ
- ・9月は月会費に加えて
冷暖房協力金 3,000円



全体：陶芸教室・お皿作り(信楽白粘土と色粘土)

粘土の塊から悪い空気を抜くのに先ずは粘土練り。職人さんは粘土練り3年といわれている大事な作業。たたきねりで50回。オニギリ作ってハンバーグ、ままごと遊びみたいな感覚でお皿の仕上げり。

親子の日



「親子の日」おやこのひは、米国人写真家ブルース・オズボーンさんが主催する親子の日普及推進委員会が中心となって、2003年より提唱・普及を行なっている記念日です。7月の第4日曜日を「親子の日」と定め、「親と子」の関係を見つめながら、家族、地域、社会、平和を願うきっかけづくりを提案しています。

35年間にわたって、親子の写真を撮り続けてきた写真家のブルース・オズボーンさんは、多大な被害をもたらした2011年の東日本大震災直後に、いてもたってもいられない気持ちを押しさえられずカメラを持って東北各地を訪ねました。相馬絵画研究所の元アシスタントリーダーでデザイナーの佐藤仁さんの紹介で、アトリエに滞在し相馬市の親子をとっていただき、癒していただきました。あの大変な最中、親子で、家族で、絆の大切さを見つめ直すよい機会になりました。多くの家族と出会い、レンズ越しに見つめた数々の親子の姿。私たちは、被害が運んできた深い悲しみに負けないで欲しいという思いを込めて、オズボーンさんが撮影した写真の数々から、忘れてはならない大切なもの、私たちに力を与えてくれるもの、そして、決して風化しない真実を、今も受け止めることができます。その時の写真集がアトリエにおいてあります。ギャラリーでご自由にご覧ください。

夏の特別授業 ようこそ先輩 夏休みの思い出を作ろう!

● 日時 8月10日(土) 14時～17時 (中学生～ 13時～17時)

● 場所 北町アトリエ ※持参物は水筒 ※活動しやすく汚れてもよい服装で参加ください。

59年目の今年度、卒業生や地元相馬高校・相馬総合高校と仙台の東北生活文化大高校美術部のみなさんと交流。

今年も、特別講師に中国の東北師範大学美術学院教授の費明宇先生を、昨年に続きお招きしております。

費先生は、美術科の先生で、昨年は中国本場の水墨画を教えてくださいました。絵ばかりでなくいろんな楽器も弾け、手品も上手で優しく楽しい先生です。

夏休みの思い出作りに、夏休みの絵や工作の宿題にアートで遊びながら先輩と感動体験をしましょう!

当日は、特別メニュー・手作りおやつも用意してみんなの参加をお待ちしています。



アトリエスケッチ1ーとうげいきょうしつ編

お皿作り(色粘土入り)6月12日(水)・14日(金)

先ずは、お話を聞く勉強から始まる陶芸教室。注意点をよく聞き、50回のたたき練りから始めてオニギリ、ハンバーグ作り、板とのし棒の道具を使って厚さ確認。高級な色粘土をはめ込み、お皿の形を作りました。一ヶ月以上乾燥させて素焼き、釉をかけ本焼きと2回焼いて完成です。

今回は花をテーマに作りました。焼き上がりお楽しみに・・・。

相馬絵画研究所創立30周年記念事業で陶芸窯を購入。「友遊窯」と命名し29年目。窯だきする事295回。多くの皆さまの作品を焼成しました。

思い返せば、学生時代、一番心に残り魅力を感じた教科が陶芸の授業でした。先生は信楽で窯を持っていた松山先生。作陶したことよりも窯だきの炎の印象が強烈だったことが思い出されます。相馬駒焼をテーマに卒論。その想いを相馬絵画研究所のカリキュラムにも入れ、窯を購入するまでは、知合いの先生方(相馬駒焼15代故田代法橋様、大堀相馬焼陶徳窯・陶富治・正則様、御壇窯の横山様、日展作家の嶋原様、えみし窯の池田様、陶芸家の鈴木環様)には、ご指導そして焼成もしていただき大変お世話になりました。

窯を購入してからは、南飯沼の陶芸小屋で窯だき。何回焼いても同じものはできない。いつもドキドキ、そしてワクワクしながらの窯だき29年です。友遊窯も大震災や2度の大きな地震にも耐え、ひび割れはしたものの、がんばっています。

物が溢れている昨今ですが、陶芸の手造りの良さを愛でる、気持ちの余裕を持ちたいですね。

(S、倉本まり子)



友遊窯

アトリエスケッチ3ー夏休み編・その2 コロナ真っ只中の夏休みを経験してきた子ども達

もうすぐ、子ども達にとって楽しい夏休みがやって来ます。

思い返せば、ここ数年、コロナ禍だった影響で、子どもたちの夏休みは、ごく身近な場所や家族など、感染症に気を遣いながらの楽しみが多かったように思います。

先日、1年生の図工の授業で、みんなで道具を持って砂場で造形遊びの授業をしました。コロナ以前は、みんなで大きな山やトンネルを作ったり、水をかけて固めたりドロドロになって集団で遊んだものです。そんなことを想像しながら隣の公園の砂場に連れて行きました。しかし、個人、個人ではカップを使って形を作ったり、山を作ったり楽しく活動はするものの、なかなか集団でのダイナミックな活動には発展しませんでした。それでも、砂を入れたコップを見せて「ドリンクバーどうぞ」小さな山をつくり、穴を掘っては「火山とマグマ!」高く砂を積んで「エベレストだよ」と、知識の豊富さには感心しました。

そして、この子ども達は、コロナ禍のため幼稚園や保育園でも集団や屋外での活動は制限されてきたのだらうとコロナの及ぼす影響力を考えさせられました。「みんなと同じでない」と安心できない。「失敗するのがイヤ」も確かに増えている気がします。

そんな中コロナ禍でも負けずに続けてきました「夏の特別授業」。今年も夏休み後半、高校生企画で計画中です。「サマー合宿」に参加できないお子さんも「夏の特別授業」で質の高い造形体験をしてくださいね。

(S、遠藤裕子)

アトリエスケッチ2ー夏休み編・その1 いよいよ夏休み!

みなさん、どんな夏休みを過ごしますか?
クーラーの効いた部屋で、ゲーム!!なんて…聞こえてきそうです。なるほど、熱中症・感染症や事故の心配のない、便利で快適な生活のようですが…。

自然の中で遊ぶ五感体験は、脳を活性化すると言われています。今の私達をとりまく環境では、昔と同じようにはなかなかできませんが、たまには、お友達や家族で、予測不能で思い通りにならない自然の中で、虫取りや川遊び・海遊びをしてみても如何でしょうか。

時間を忘れるほど夢中になる遊びを見つけて、体を動かし、大きな声を出して心リフレッシュ。壁にぶちあたったら、知恵を出して、辛抱することや努力することが学べることと思います。

有意義な夏休みを楽しんで下さいね。(S、水野友美子)

相馬市青少年健全育成市民会議・団体活動奨励事業

3泊4日リーダー育成「サマー合宿」

〈主催〉元気クラブ

〈後援〉相馬市教育委員会・NPO法人ふれあいサポート館アトリエ

昨年度に引き続き、絵画そうげいきょうしつの卒業生が中心となり夏休みを利用して3泊4日リーダー育成「サマー合宿」を企画しました。

日時 8月7日(水)11時集合～10日(土)14時解散

場所 ふれあいサポート館アトリエ(北町)

対象 小学3年生以上(定員12名)

※詳しくは前にお渡ししました別紙ご案内をご覧ください。